

Lがつなぐ家

設計者/田村建築設計工房
施工者/分離発注による



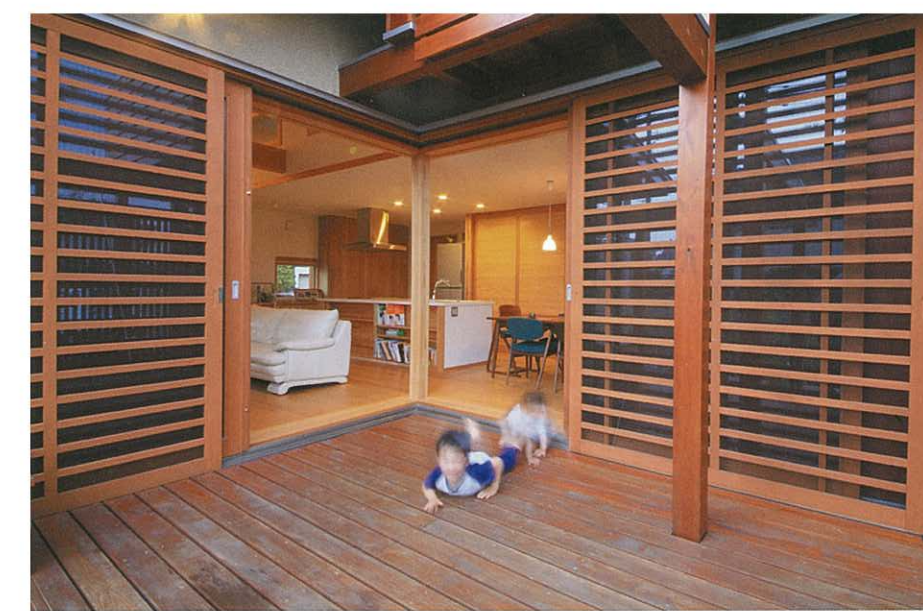
設計趣旨 CONCEPT

人、空間、庭、周辺の街並みがつながり合いながら豊かな時間が流れるような住宅を目指した。

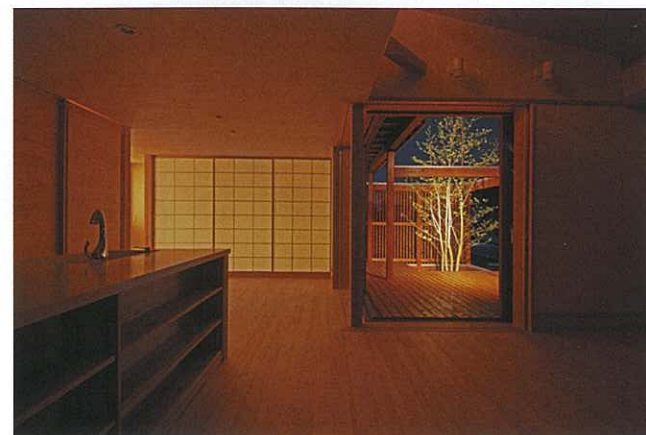
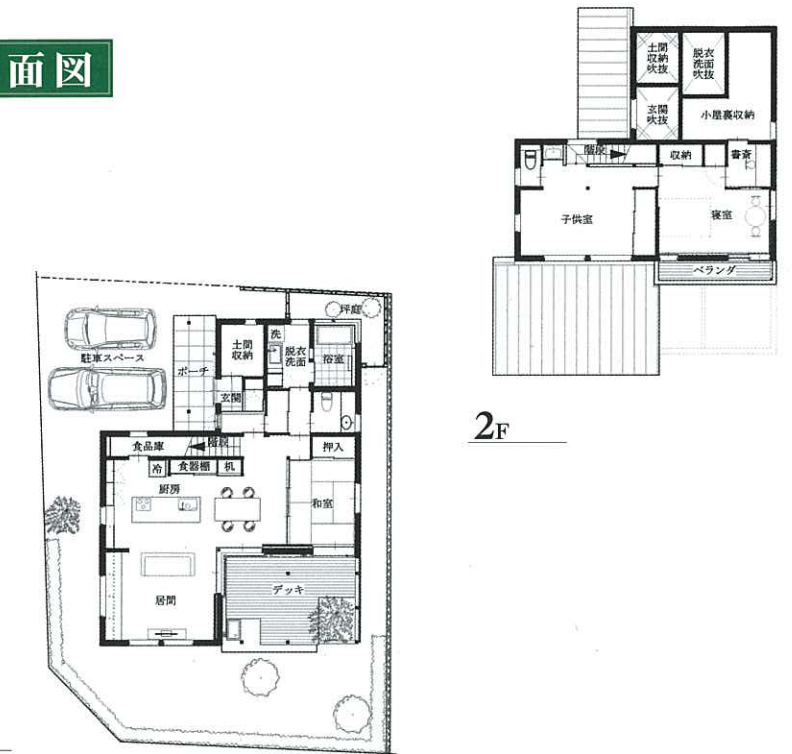
リビング、ダイニングの延長として使用するデッキテラスに対してフルオープンとなる特注木製サッシを設け、デッキを生活の一部とする広がりのある空間構成とした。デッキは室内を延長した半屋内空間として日常的に使用でき、生活に幅をもたらすと同時に、周囲とつながりを得る効果もある。プライベートな空間ながらも、周囲と緩やかにつながり、互いに良い関係になるよう考慮した。

また仕上げ材だけでなく下地材や建具まで全て無垢材、自然素材を使用し、壁や天井の珪藻土・杉板や桧床板の中に木製サッシや桧浴槽等が溶け込む、心地よさや安全性にこだわった住宅とした。外壁にはメンテナンス性の高い土壁系左官仕上げを採用した。庭の樹木や家庭菜園、日除けのゴーヤカーテン等と馴染みやすく、親しみを感じる外観となる。建物高さを低くし、大きな壁を持たない計画とすることで、日差し、通風、視線の抜けをつくり、周囲にやさしい建物となる。

深く軒を出した屋根太陽光発電パネルを設置し、夏季の日射の遮蔽につとめ、エネルギーを作り、エネルギーを押しさえることを意識した。



平面図



講評 REVIEW

公園近くの静かな住宅街のなか、建物高さを控え、自然素材と手仕事で仕上げられた住宅がしっとりとその場に行んでいます。

室内だけでなく屋外とも繋がりを持たせるため、デッキテラスと和室、生活空間を田の字に配置したプランはテラスに対して二方向をフルオープンとなり、リビング、ダイニングの延長として使用するデッキテラスが生活の一部とする広がりのある空間構成となっています。リビングの勾配天井を活かした2階子供部屋との「つながり小窓」や書斎コーナーやベンチを兼ねた収納、あえて低く抑えた天井で繋ぐことで広がりを出すなど、さまざま居場所がある快適な空間。テラスに対して二方向に全開放する木製サッシや坪庭を持つ快適なお風呂、無垢材、自然素材の使用など施主のこだわりがたくさんつまっています。デッキ、庭、家庭菜園を中心として周囲へも繋がりが生まれ、次世代を担う子供達がのびのびと育つことのできる住まいとなっています。